



一時的な状態

この章では、よく発生する Cisco ONS 15454 SDH の一時的な状態についてそれぞれ説明し、エンティティ、SNMP 番号、およびトラップを示します。

3.1 一時的な状態のアルファベット順インデックス

表 3-1 に、ONS 15454 SDH の一時的な状態とそれらのエンティティ、SNMP 番号、および SNMP トラップをアルファベット順に示します。



(注)

CTC のデフォルト アラーム プロファイルには、現在は実装されていないが今後の使用のために予約されているアラームおよび状態が含まれていることがあります。

表 3-1 ONS 15454 SDH 一時的な状態のアルファベット順インデックス

一時的な状態	エンティティ	SNMP 番号	SNMP トラップ
3.3.1 ADMIN-DISABLE (p.3-5)	NE	5270	disableInactiveUser
3.3.2 ADMIN-DISABLE-CLR (p.3-5)	NE	5280	disableInactiveClear
3.3.3 ADMIN-LOCKOUT (p.3-5)	NE	5040	adminLockoutOfUser
3.3.4 ADMIN-LOCKOUT-CLR (p.3-5)	NE	5050	adminLockoutClear
3.3.5 ADMIN-LOGOUT (p.3-5)	NE	5020	adminLogoutOfUser
3.3.6 ADMIN-SUSPEND (p.3-5)	NE	5340	suspendUser
3.3.7 ADMIN-SUSPEND-CLR (p.3-5)	NE	5350	suspendUserClear
3.3.8 AUTOWDMANS (p.3-6)	NE	5690	automaticWdmAnsFinished
3.3.9 DBBACKUP-FAIL (p.3-6)	EQPT	3724	databaseBackupFailed
3.3.10 DBRESTORE-FAIL (p.3-6)	EQPT	3726	databaseRestoreFailed
3.3.11 EXERCISING-RING (p.3-6)	OCN	3400	exercisingRingSuccessfully
3.3.12 FIREWALL-DIS (p.3-6)	NE	5230	firewallHasBeenDisabled
3.3.13 FRCDWKSWBK-NO-TRFSW (p.3-6)	OCN	5560	forcedSwitchBackToWorkingResultedInNoTrafficSwitch
3.3.14 FRCDWKSWPR-NO-TRFSW (p.3-7)	OCn	5550	forcedSwitchToProtectResultedInNoTrafficSwitch
3.3.15 INTRUSION (p.3-7)	NE	5250	securityIntrusionDetUser
3.3.16 INTRUSION-PSWD (p.3-7)	NE	5240	securityIntrusionDetPwd
3.3.17 IOSCFG-COPY-FAIL (p.3-7)	—	3660	iosConfigCopyFailed
3.3.18 LOGIN-FAILURE-LOCKOUT (p.3-7)	NE	5080	securityInvalidLoginLockedOutSeeAuditLog
3.3.19 LOGIN-FAILURE-ONALRDY (p.3-7)	NE	5090	securityInvalidLoginAlreadyLoggedOnSeeAuditLog
3.3.20 LOGIN-FAILURE-PSWD (p.3-7)	NE	5070	securityInvalidLoginPasswordSeeAuditLog
3.3.21 LOGIN-FAILURE-USERID (p.3-8)	NE	3722	securityInvalidLoginUsernameSeeAuditLog
3.3.22 LOGOUT-IDLE-USER (p.3-8)	—	5110	automaticLogoutOfIdleUser
3.3.23 MANWKSWBK-NO-TRFSW (p.3-8)	OCN	5540	manualSwitchBackToWorkingResultedInNoTrafficSwitch
3.3.24 MANWKSWPR-NO-TRFSW (p.3-8)	OCN	5530	manualSwitchToProtectResultedInNoTrafficSwitch

表 3-1 ONS 15454 SDH 一時的な状態のアルファベット順インデックス (続き)

3.3.25	MSSP-RESYNC (p.3-8)	STMN	4340	msspMultiNodeTableUpdateCompleted
3.3.26	PARAM-MISM (p.3-8)	OTS、OMS、OCH、AOTS	5840	pluginModuleRangeSettingsMismatch
3.3.27	PM-TCA (p.3-9)	—	2120	performanceMonitorThresholdCrossingAlert
3.3.28	PS (p.3-9)	EQPT	2130	protectionSwitch
3.3.29	PSWD-CHG-REQUIRED (p.3-9)	NE	6280	userPasswordChangeRequired
3.3.30	RMON-ALARM (p.3-9)	—	2720	rmonThresholdCrossingAlarm
3.3.31	RMON-RESET (p.3-9)	—	2710	rmonHistoriesAndAlarmsResetReboot
3.3.32	SESSION-TIME-LIMIT (p.3-9)	NE	6270	sessionTimeLimitExpired
3.3.33	SFTWDOWN-FAIL (p.3-9)	EQPT	3480	softwareDownloadFailed
3.3.34	SPANLENGTH-OUT-OF-RANGE (p.3-10)	OTS	6150	spanLengthOutOfRange
3.3.35	SWFTDOWNFAIL (p.3-10)	EQPT	3480	softwareDownloadFailed
3.3.36	USER-LOCKOUT (p.3-10)	NE	5030	userLockedOut
3.3.37	USER-LOGIN (p.3-10)	NE	5100	loginOfUser
3.3.38	USER-LOGOUT (p.3-10)	NE	5120	logoutOfUser
3.3.39	WKSWBK (p.3-10)	EQPT、OCN	2640	switchedBackToWorking
3.3.40	WKSWPR (p.3-10)	2R、TRUNK、EQPT、ESCON、FC、GE、ISC、OCN、STSMON、VT-MON	2650	switchedToProtection
3.3.41	WRMRESTART (p.3-11)	NE	2660	warmRestart
3.3.42	WTR-SPAN (p.3-11)	—	3420	spanIsInWaitToRestoreState

3.2 トラブル通知

ONS 15454 SDH では、Telcordia GR-253 の規則に従った状態の標準特性および GUI（グラフィカル ユーザーインターフェイス）の状態インジケータを使用して問題が報告されます。

ONS 15454 SDH では、Telcordia の標準カテゴリを使用して問題を各レベルに分類しています。システムは CTC Alarms ウィンドウで、アラームとして問題を通知し、状態としてステータスまたは記述的通知（設定されている場合）を行います。アラームは通常、信号の消失など、修復する必要のある問題を示します。状態の場合は、トラブルシューティングが必要であるとは限りません。

3.2.1 状態の特性

状態には、ONS 15454 SDH シェルフで検出されたすべての問題が含まれます。未解決な状態や一時的な状態もあります。ネットワーク、ノード、またはカード上で現在生成されているすべての状態のスナップショットは、CTC Conditions ウィンドウか、または TL1 の一連の RTRV-COND コマンドを使用して表示できます。



(注)

クリアされた状態は、History タブで確認できるものもあります。

状態の一覧は、『Cisco ONS 15454 TL1 Command Guide』を参照してください。

3.2.2 状態のステータス

History タブのステータス (ST) カラムには、状態のステータスが次のように表示されます。

- raised (R; 生成) は、アクティブなイベントです。
- cleared (C; クリア) は、アクティブではなくなったイベントです。
- transient (T; 一時的) は、ユーザのログイン、ログアウト、ノードビューへの接続の消失など、システムの変更中に CTC で自動的に生成されてクリアされたイベントです。一時的なイベントに対しては、ユーザの対処は必要ありません。

3.3 一時的な状態

ここでは、ソフトウェア リリース 6.0 で検出されるすべての一時的な状態をアルファベット順に示します。それぞれの状態の説明、エンティティ、SNMP 番号、および SNMP トラップも示します。

3.3.1 ADMIN-DISABLE

ADMIN-DISABLE（非アクティブ ユーザの無効化）状態は、指定された期間にわたって非アクティブであったユーザまたはアカウントを管理者が無効にしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.2 ADMIN-DISABLE-CLR

ADMIN-DISABLE-CLR（非アクティブ無効化のクリア）状態は、管理者がユーザ アカウントの無効化フラグをクリアしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.3 ADMIN-LOCKOUT

ADMIN-LOCKOUT（管理者によるユーザのロックアウト）状態は、管理者がユーザ アカウントをロックしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.4 ADMIN-LOCKOUT-CLR

ADMIN-LOCKOUT-CLR（管理者によるロックアウトのクリア）状態は、管理者がユーザ アカウントをアンロックしたか、ロックアウト時間が経過したときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.5 ADMIN-LOGOUT

ADMIN-LOGOUT（管理者によるユーザのログアウト）状態は、管理者がユーザ セッションをログオフしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.6 ADMIN-SUSPEND

ADMIN-SUSPEND（ユーザの一時停止）状態は、ユーザ アカウントのパスワードが期限切れになったときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.7 ADMIN-SUSPEND-CLR

ADMIN-SUSPEND-CLR（ユーザの一時停止のクリア）状態は、ユーザまたは管理者がパスワードを変更したときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.8 AUTOWDMANS

AUTOWDMANS (WDM ANS の自動終了) 状態は、自動ノードセットアップ コマンドが開始されたことを示します。通常、DWDM カードを交換するときに発生し、システムがカードを規制したことを示します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.9 DBBACKUP-FAIL

DBBACKUP-FAIL (データベース バックアップ失敗) 状態は、バックアップ コマンドが開始されたときに、システムがデータベースのバックアップに失敗したときに発生します。

ネットワークまたはサーバの問題のためにサーバがバックアップ操作を処理できない可能性があります。同じ操作を繰り返して、成功するかどうか確認してください。バックアップが失敗した場合は、ネットワークに問題があるか、ソフトウェアのプログラム エラーが原因かもしれません。弊社サポート担当に連絡してください。必要に応じて、「[テクニカル サポート](#)」(p.xxxix) を参照してください。

3.3.10 DBRESTORE-FAIL

DBRESTORE-FAIL (データベース復元失敗) 状態は、復元コマンドが開始されたときに、システムがバックアップされたデータベースを復元できなかったときに発生します。

この状態は、サーバの問題、ネットワークの問題、または人的エラー (存在しないファイルを指定した、ファイル名が正しくないなど) が原因です。正しいファイルを指定してデータベース復元を再試行すると、通常は成功します。ネットワークの問題が続く場合は、弊社サポート担当に連絡してください。この状態がネットワーク要素 (NE) の障害が原因で発生した場合は、弊社サポート担当に連絡してください。必要に応じて、「[テクニカル サポート](#)」(p.xxxix) を参照してください。

3.3.11 EXERCISING-RING

EXERCISING-RING (リングの正常実行) 状態は、CTC または TL1 から Exercise-Ring コマンドを発行するたびに発生します。この状態は、コマンドが実行中であることを示します。実行と状態をクリアするには、別のコマンドを発行する必要があります。

3.3.12 FIREWALL-DIS

FIREWALL-DIS (ファイアウォール無効化) 状態は、ファイアウォールを Disabled にプロビジョニングしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.13 FRCDWKSWBK-NO-TRFSW

FRCDWKSWBK-NO-TRFSW (現用への強制再切り替えによるトラフィック切り替えなし) 状態は、現用ポート / カードへの強制切り替えを実行したときに、現用ポート / カードがすでにアクティブなときに発生します。

この一時的な状態によって、MS-SPRing の Force Switch (Ring または Span) が未処理状態となることがあります。

3.3.14 FRCDWKSWPR-NO-TRFSW

FRCDWKSWPR-NO-TRFSW（保護への強制再切り替えによるトラフィック切り替えなし）状態は、保護ポート / カードへの強制切り替えを実行したときに、保護ポート / カードがすでにアクティブなときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.15 INTRUSION

INTRUSION（無効なログインユーザ名）状態は、無効なユーザ ID でログインしようとしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.16 INTRUSION-PSWD

INTRUSION -SWD（セキュリティ侵入試行の検出）状態は、無効なパスワードでログインしようとしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.17 IOSCFG-COPY-FAIL

IOSCFG-COPY-FAIL（IOS 設定コピー失敗）状態は、ML シリーズイーサネットカードで、ソフトウェアが ML シリーズカードに設定ファイルをアップロードできなかったとき、または ML シリーズカードから設定ファイルをダウンロードできなかったときに発生します。[「SFTWDOWN-FAIL」状態 \(p.3-9\)](#) と類似していますが、IOSCFG-COPY-FAIL 状態は、TCC2/TCC2P カードではなく、ML シリーズイーサネットカードに適用されます。

3.3.18 LOGIN-FAILURE-LOCKOUT

LOGIN-FAILURE-LOCKOUT（無効なログイン、ロックアウト）状態は、ロックされたアカウントにログインしようとしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.19 LOGIN-FAILURE-ONALRDY

LOGIN-FAILURE-ONALRDY（セキュリティ：無効なログイン、すでにログオン）状態は、既存のセッションおよび SUPN ポリシーでログインしようとしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.20 LOGIN-FAILURE-PSWD

LOGIN-FAILURE-PSWD（無効なログイン、パスワード）状態は、無効なパスワードでログインしようとしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.21 LOGIN-FAILURE-USERID

LOGIN-FAILURE-USERID（無効なログイン、ユーザ名）状態は、ログインユーザ名がノードデータベースに存在しないために、ユーザログイン（CTC、CTM、またはTL1）が失敗したときに発生します。既存のユーザIDを使用してログインを再試行してください。

この一時的な状態は、セキュリティ警告と同等です。セキュリティ関連の他のアクションが発生していないか、セキュリティログ（監査ログ）を確認する必要があります。

3.3.22 LOGOUT-IDLE-USER

LOGOUT-IDLE-USER（アイドルユーザの自動ログアウト）状態は、ユーザセッションが長時間アイドル状態だったために（アイドルタイムアウトが経過）、結果としてセッションが終了したときに発生します。ログインし直して、セッションを再開する必要があります。

3.3.23 MANWKSWBK-NO-TRFSW

MANWKSWBK-NO-TRFSW（現用への手動再切り替えによるトラフィック切り替えなし）状態は、現用ポート/カードへの手動切り替えを実行したときに、現用ポート/カードがすでにアクティブなときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.24 MANWKSWPR-NO-TRFSW

MANWKSWPR-NO-TRFSW（保護への手動切り替えによるトラフィック切り替えなし）状態は、保護ポート/カードへの手動切り替えを実行したときに、保護ポート/カードがすでにアクティブなときに発生します。

この一時的な状態によって、MS-SPRing の Manual Switch（Span または Ring）が未処理状態となることがあります。

3.3.25 MSSP-RESYNC

MSSP-RESYNC（MS-SPRing マルチ ノード テーブル アップデート完了）状態は、ノードがリング内の他のノードから Payload、pathState、Rip、XcTbIs、XcVfTbIs など、すべての関連情報を受信したときに発生します。この状態は、ノードが追加されたり回線がプロビジョニングされるときに、リング内のすべてのノードで生成されます。この一時的な状態はクリアされず、CTC の History タブに表示されます。

すべてのノードでこの状態を確認したあと、Forced Switched Ring コマンドを削除する必要があります。

3.3.26 PARAM-MISM

PARAM-MISM（プラグイン モジュール範囲設定ミスマッチ）状態は、Small Form-Factor Pluggable（SFP）装置に格納されたパラメータ範囲の値が、TCC2/TCC2P データベースに格納されたパラメータと違うときに発生します。

この一時的な状態はユーザによる対処が不能です。「[テクニカル サポート](#)」(p.xxxix) を参照してください。

3.3.27 PM-TCA

PM-TCA (パフォーマンス モニタ スレッシュホールド超過アラート) 状態は、ネットワーク コリジョンが上昇スレッシュホールドを初めて超えたときに発生します。

3.3.28 PS

PS (保護切り替え) 状態は、トラフィックが現用 / アクティブ カードから保護 / スタンバイ カードに切り替えられたときに発生します。

3.3.29 PSWD-CHG-REQUIRED

PSWD-CHG-REQUIRED (ユーザ パスワード要変更) 状態は、ユーザがログイン パスワードを変更しなかったために telnet や FTP などのシェル関数へのログインを拒否されたときに発生します。パスワードは、CTC または TL1 から変更できます。

3.3.30 RMON-ALARM

RMON-ALARM (RMON スレッシュホールド超過アラーム) 状態は、リモート モニタリング変数がスレッシュホールドを超過したときに発生します。

3.3.31 RMON-RESET

RMON-RESET (RMON 履歴およびアラーム リセット リポート) 状態は、TCC2/TCC2P カードの時刻設定が 5 秒を超えて進んだか遅れたときに発生します。これによってすべての履歴データが無効になり、リモート モニタリング (RMON) を再起動する必要があります。カードをリセットしたときにも発生します。

3.3.32 SESSION-TIME-LIMIT

SESSION-TIME-LIMIT (セッション時間制限経過) 状態は、ログインセッションが時間制限を超えたために、セッションからログアウトされたときに発生します。ログインし直す必要があります。

3.3.33 SFTWDOWN-FAIL

SFTWDOWN-FAIL (ソフトウェア ダウンロード失敗) 状態は、システムが必要なソフトウェアのダウンロードに失敗したときに発生します。

この失敗は、入力で指定された場所やファイルが正しくないか、ネットワーク問題、または不良な (破損した) パッケージが原因です。正しいファイル名または場所を指定して操作を再試行すると、通常は成功します。ネットワーク問題が続く場合は、弊社サポート担当に連絡してください。パッケージが破損している場合は、弊社サポート担当に連絡してください。詳細は、「[テクニカル サポート](#)」(p.xxxix) を参照してください。

3.3.34 SPANLENGTH-OUT-OF-RANGE

SPANLENGTH-OUT-OF-RANGE (スパン長範囲外) 状態は、測定されたスパン損失が、予期されたスパン損失の最小値および最大値の限界範囲内でなかったときに発生します。MaxExpSpanLoss と MinExpSpanLoss の差が 1dB より大きいときにも発生します。

DWDM ノードで Calculate Span Loss 操作を行うと、ソフトウェアは遠端の POSC パワーと近端の OSC パワーを比較することによって、フィールドの実際のスパン損失を測定します。

3.3.35 SWFTDOWNFAIL

SFTDOWN-FAIL (ソフトウェア ダウンロード失敗) 状態は、システムが必要なソフトウェアのダウンロードに失敗したときに発生します。

この失敗は、入力で指定された場所やファイルが正しくないか、ネットワーク問題、または不良な (破損した) パッケージが原因です。正しいファイル名または場所を指定して操作を再試行すると、通常は成功します。ネットワーク問題が続く場合は、弊社サポート担当に連絡してください。パッケージが破損している場合は、弊社サポート担当に連絡してください。詳細は、「[テクニカルサポート](#)」(p.xxxix) を参照してください。

3.3.36 USER-LOCKOUT

USER-LOCKOUT (ユーザ ロックアウト) 状態は、ログインしようとして失敗したために、システムがアカウントをロックしたときに発生します。作業を進めるには、管理者がアカウントをアンロックするか、ロックアウト時間が経過する必要があります。

3.3.37 USER-LOGIN

USER-LOGIN (ユーザのログイン) 状態は、ユーザ ID とパスワードを確認することによって、新しいセッションを開始したときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.38 USER-LOGOUT

USER-LOGOUT (ユーザのログアウト) 状態は、ユーザが自分のアカウントからログアウトすることによって、ログインセッションを中止したときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.39 WKSWBK

WKSWBK (現用への再切り替え) 状態は、非リバーティブ保護グループ内の現用ポート / カードにトラフィックが再切り替えされたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.40 WKSWPR

WKSWPR (保護への切り替え) 状態は、非リバーティブ保護グループ内の保護ポート / カードにトラフィックが切り替えられたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.41 WRMRESTART

WRMRESTART (ウォーム リスタート) 状態は、電源投入時にノードが再起動したときに発生します。再起動は、データベースの復元や IP の変更などのプロビジョニング、またはソフトウェア障害などが原因で発生します。WRMRESTART は、通常、リセットが手動で開始されたか (MAN)、それとも自動的に開始されたか (AUTO) を示す MANRESET または AUTORESET と同時に発生します。

これは、TCC2/TCC2P カードへの電源投入後に最初に表示される状態です。TCC2/TCC2P カードが物理的な取り付けなおしや電源断から再起動された場合、状態は COLD-START に変わります。

3.3.42 WTR-SPAN

WTR-SPAN (スパンが状態の復元を待機中) 状態は、Signal Failure-Span コマンドによって、または 4 ファイバ BLSR 設定からファイバが引き抜かれたために、BLSR が別のスパンに切り替えられたときに発生します。この状態は、WaitToRestore (WTR) 期間が経過するまで生成されます。

この一時的な状態は、BLSR が正常状態または IDLE 状態に戻るとクリアされます。

